東村山 歴史とロマン

第6号
2008.6.1
編集・発行
市北西部「歴史とロマン」わくわくする市民の会
東村山市本町2-5-2
TEL:042-391-0020

平成21年春オープン

下宅部遺跡が発見されて14年目を迎え、ようやくその展示を兼ねた「（仮称）縄文たいけん館」が来年5月にオープンすることになりました。『狭山丘陵の人と自然との関係』を基本コンセプトに体験学習の場として、人と人との出会い、ふれ合い、憩いの場となります。

体験を通じて人との出合い

夢のせて建設着々進行

民家園跡地にL字型二階建てのモダンな建物が現在建築中です。今年8月完成予定です。9月からは外溝工事に入ります。旧民家園の植栽を活かしつつ、さらに新しい植物も植え、緑豊かな環境の場となります。その中に体験広場や水場、畑なども設けられます。棟門も修復、移築します。

私たち「歴史とロマン」の会では、これまで下宅部遺跡出土品の展示館の建設と茅葺民家の復元を目玉として活動を進めてきました。この建設が実現したことは、私たちの活動の盛り上がりが、きびしい財政事情の中でも、市の英断をもたらしたものと評価できるのではないでしょうか。建設地は八国山の麓、北山公園の一角であり、下宅部遺跡公園「はっけんのもり」や北山菖蒲園に立ち寄った際や、八国山散策の折など、訪れるのに都合によい場所です。西武園の駅からも歩いて近い距離です。

名前も7月には決定

すべての工事が来年の3月には完了し、5月の連休にはオープンできるように工事が順調に進められています。完成すれば東村山市の新名所となることでしょう。

かやぶき民家園跡地に在20名ほどの会員で夢が語られ、活発な討論が行われています。市外からの参加者もあり、これからの体験型文化施設の方向を示すモデルケースともなりそうです。会員はまだ募集中です。問い合わせ、申し込みはふるさと歴史館まで。

楽しいたいけん館をつくろう！ ワークショップ

「（仮称）縄文たいけん館」を楽しく活用するために、市民の方が意見交換をしながら施設をつくり、運営できるように「ワークショップ」を開催しています。現は、「北山たいけん館構想」に基づき、資料館とかやぶき民家が建設される予定でした。しかし、財政事情から、今度できる施設でとりあえず「狭山丘陵の人と自然との関係」を基本コンセプトとした「北山たいけん館構想」の実現を試みることになったのです。

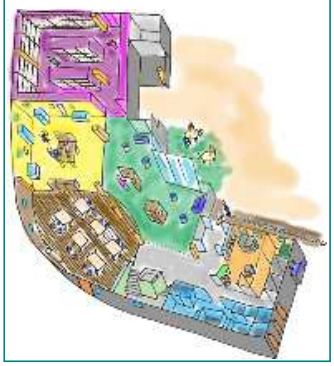
早くから施設名の募集が始まり、四月三十日に締め切られました。（名称募集の企画は、多くの市民がこの施設に関心を持って積極的に参加することを願って始められました）。多数の応募があり、現実的な名前から夢を追う洒落た名前まで多岐に及びました。これから教育委員会に提出され、最終的な名前は七月中に決定します。

新しい施設は、下宅部遺跡から見つかった様々な貴重な遺物を収蔵・保管するばかりでなく、それらの積極的な活用をはかり、体験学習に役立つよう、これからもかかわり育てて行きたいと考えております。

狭山丘陵のベースキャンプ的存在として自然に親しみ、人々がふれ合い、憩いあう場を目ざし学習施設としての役割ばかりでなく、今の東京では数少なくなった自然の中で野鳥や野草の観察もできる、散策の休憩地としての役割を果たすことにもなります。

子供達にとっては自然に親しむ工作や遊びなど多様な学習や遊びの場となることが期待されます。

たいけん館は こんなトコロ

1階
体験学習スペース
体験学習や製作に使用
展示スペース
下宅部遺跡等の出土品の展示
フリースペース
周辺散策者休息コーナー
狭山丘陵の自然を中心としたギャラリーコーナー
収蔵展示室
資料収蔵と一般公開展示

2階
ボランティアルーム
ボランティアのミーティング・休憩などのための控え室
学習室
出土資料の整理作業や閲覧、作業体験や学習会の開催
収蔵庫・特別収蔵庫
下宅部および市内からの出土品を保管